## ③第２分科会

### グラフィック・レコーディングワークショップ
### 「“紙とペンで、話し合いをよりよく”入門編」



特定非営利活動法人山科醍醐こどものひろば
子どもの生活支援担当／ファシリテーショングラフィッカー
三宅　正太

#### １．はじめに




グラフィック・レコーディングという言葉がコロナ禍で急速に広がりました。Zoomなどのオンラインツールで話し合うことが一般化し、どうすれば対面と変わりなく、もしくは対面以上に効果的に話し合いの場を作ることができるのか模索されてきた２年間でした。そこで注目を浴びるようになったのが視覚的に話し合いを可視化する技法である「グラフィック・レコーディング」であり、この数年で関連する書籍も多数出版されるようになりました。本分科会では、全国各地で様々な業種で広まっているグラフィック・レコーディングが、教育現場ではどのように活用できるのかを体験する時間を参加者みなさまと共有しました。

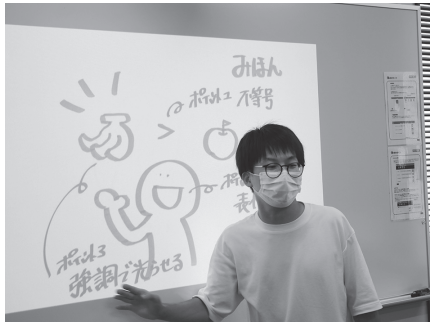
#### ２．グラフィック・レコーディングの役割

一般的にグラフィック・レコーディングと聞けば、会議や講演、ワークショップなどの場でイラストを用いてわかりやすくまとめることがイメージされますが、グラフィック・レコーディングの持つ可能性や役割はそれだけではありません。話し合いでなくとも、授業のノートテイキングやアイデア

を整理するなど、手持ちの手帳や付箋があれば一人の場面でも、より効果的に情報のインプット・アウトプットが可能となります。また、家族の話し合い、親と子の対話、先生と生徒との面談など少し場を持つのが難しい場面でも、場を和らげ、今まで言葉にしづらかった気持ちや思いも表現することができるかもしれません。ペンを持って可視化してみるというシンプルな技法に幅広い活用方法があります。



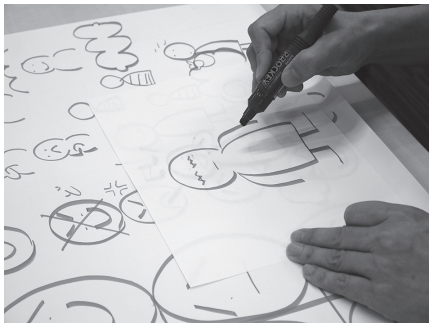

## 3．グラフィック・レコーディング体験



実際にグラフィック・レコーディングを日々の暮らしや現場に取り入れるにあたって、「人前で絵を描くのは、ちょっと…」、「昔から絵を描くのが苦手で…」といった気持ちの面でハードルとなることが多いかと思われます。活用したい場面があったとしても、望んだ効果を出せるまでには技術が及ばないのではという不安感もあるかと思います。本分科会では、実際に絵が苦手でも、またきれいに描くことができなくても、これまでの話し合いがより豊かになるよう、「まずは描くことを楽しんでみる」時間を共有しました。

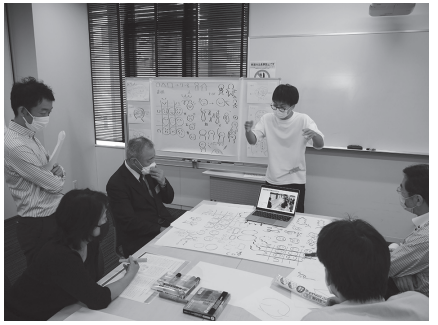


絵や文字だけを扱うことがグラフィック・レコーディングではありません。分科会の冒頭では参加者が今どのような気持ちで参加されているのか、自分の気持ちを表す色のペンを選ぶところから始めました。話し合いの本題に入る前にお互いの状態を知る時間を「チェックイン」とファシリテーションの技法で呼ばれています。場に知らない人がいたり、その場の話し合い以外に気になっていることがあると、落ち着かない状態で不安定な話し合いが生まれてしまいます。今回は、色を選ぶだけではなく、数字も使って自分と他者の気持ちを確認しました。絵が苦手でも、言葉でうまく気持ちを表せなくても、ペンにはたくさんの表現方法があります。



本分科会では模造紙に向かって大きく線や図形をたくさん描きました。のびのび描くことで、きれいに描くことやわかりやすく描くこと以上に大切なことが見えてきます。楽しく描くこと、単純な線や図形でも表せるものが多いこと、そしてその雰囲気が安心の場づくりや話しやすさに貢献するということです。

## 4．最後に



グラフィック・レコーディングには情報の交通整理の役割もありますが、まずは安心して情報が机の上に広げられる場づくりを体験していただきました。教育現場で、少しでもよりよく話し合いができるエッセンスの一つとして、グラフィックレ・コーディングの技法を活用していただければ幸いです。